

穂積加工株式会社  
(第32期)

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

科 目	金額	科 目	金額
<資産の部>	千円	<負債の部>	千円
<b>【流動資産】</b>	125,948	<b>【流動負債】</b>	93,135
原材料及び貯蔵品	25,570	リース債務	5,661
前払費用	851	未払金	42,108
繰延税金資産		未払費用	59
未収入金	10,847	預り金	14,694
立替金	88,680	未払消費税等	71
		未払法人税等	30,542
		<b>【固定負債】</b>	
		その他	
		<b>負債計</b>	93,135
<b>【固定資産】</b>	10,400	<純資産の部>	
(有形固定資産)		<b>【株主資本】</b>	10,000
建物		(資本金)	10,000
車両及び運搬具		<b>【利益剰余金】</b>	33,213
工具器具及び備品		(その他利益剰余金)	33,213
リース資産		繰越利益剰余金	33,213
(投資その他資産)	10,400		
繰延税金資産	10,400	<b>純資産計</b>	43,213
<b>資産合計</b>	136,348	<b>負債・純資産合計</b>	136,348

注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示している。

(第32期)

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(2) 棚卸資産

貯蔵品……総平均法による原価法  
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)……定額法

(2) リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法  
なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用している。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に関する注記)

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法の変更

従来、当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、主として定率法を採用していたが、当事業年度より定額法に変更している。この変更は、当社の親会社である旭化成建材株式会社が有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更することを契機として、有形固定資産の償却方法の検討を行った結果、当社の有形固定資産は、長期的かつ安定的に稼働し、当社の安定的な収益の獲得に貢献することが見込まれることから、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが、有形固定資産の使用実態をより適切に反映する費用配分方法となるとともに、当社により適切な業績管理に資すると判断したことによるものである。

(表示方法の変更に関する注記)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う繰延税金資産・負債の表示方法の変更  
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号)を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示している。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の総数  
普通株式

140株